

6月市議会で防災の強化を求める



宮城県七ヶ浜町。車が突っ込んだままの家。
2011. 5. 27.

5月20日の質問で別府市の津波は「満潮と重なった場合5. 2メートルを想定」と答弁がありました。別府市では今年度中に避難所を見直し、防災マップを全戸に配布することにしていきます。その後、国の見直しを受け防災計画を見直します。

津波5. 2メートルを想定

6月21日、市議会一般質問でえんど久子市議は、5月に訪れた被災地宮城県での経験を紹介し、「つらい経験を話してくださった被災者のみなさんの思いに応えるためにも、教訓として生かさなければならぬ」と、防災の強化、災害時の対応を求めました。

中央小学校の移転を求める

日本共産党は中央小学校を統合する際、反対しました。6月議会で海岸沿いにある中央小学校について、市長は「将来的に移転も含め、しっかりした対策が必要」と延べ、えんど市議は早い時期の移転を求めました。



家が土台だけになった宮城県七ヶ浜町の海岸沿い。手前は歩道に書かれた避難経路を示す矢印。観光地別府にも避難経路の表示が必要ではと、えんど市議は提案。
2011. 5. 27. えんど市議撮影

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.469
2011. 6. 22

<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

避難所の耐震化を早く

避難訓練の充実を

公私立の保育所では月1回以上避難訓練をしています。えんど市議は、小中学校や児童クラブなどの避難訓練の充実を求め、指導すると答弁がありました。

また、日ごろから地域

に協力を求め避難先としてお願いしておく、避難先を保護者に知らせておくなど、地域の体制やルール作りが必要だと主張しました。

自主防災会などの避難訓練が増えています。

公民館の耐震化は5年先：

えんど久子市議は、公民館など避難所の耐震化を求めました。担当課長は「中央公民館は早急に耐震補強計画が必要。北部地区公民館とおじかなどは、小中学校の耐震化後に耐震診断をしたい。町内公民館の耐震診断・耐震補強のための貸付または助成に向け協議中だ」と答弁。

えんど市議は「小中学校の耐震化後では5年も先になる。なるべく早く耐震化を行なう必要がある。中央公民館は地震の避難所からはずすべき。」と主張しました。

えんど市議は「小中学校の耐震化後では5年も



また、土砂災害などの防災工事を急ぐよう、県の工事だけでなく市独自でも行なうよう要求し、「積極的に取り組んでいきたい」と答弁。

さらに「生コンの値段が上がったが、県の単価が安いので、業者の方の声を紹介し、単価を上げるよう求め、県に要望すると部長の答弁がありました。

防災問題の質問の続きは次のページに続きます



崩壊危険区域を示す看板

別府市議会のホームページで過去の市議会の映像が見られます。ご覧ください。